

震災を越えて 第一弾

どうする木材業界？ 今、九州の家づくりはどこへ向かうのか？

第16回九州森林フォーラム in 関門

10/28 (金)

13:00 ~ 18:00 (受付開始 12:40)

香りの家モデルハウス見学

集合場所：JR 門司港駅ロータリー



そーれ菊川工場見学

(プレカット工場・断熱材製造工場・構造館・ペレット製造機)



19:00 ~ 21:00

「交流会」会場：海人 門司港本店

10/29 (土)

10:00 ~ 16:00 (受付開始 9:30)

会場：門司生涯学習センター 〒801-0863 北九州市門司区柴町3-7
電話番号：093-332-0887 JR 門司港駅より徒歩5分

基調講演：遠藤日雄 (鹿児島大学農学部教授・農学博士)

「九州は1つ、県産材から九州産材へ」

三浦裕成 (株式会社新新聞社 取締役役員)

「地域材活用のニーズの変化を探る」

事例報告：安成信次 (株式会社安成工務店 代表取締役社長)

「LCCM (ライフサイクルカーボンマイナス)

住宅で「木の家」工務店が復活」

パネルディスカッション：

【パネリスト】

木川研史 (株式会社トライ・ウッド 林業・製材)

村田義弘 (株式会社建築工房自然木 (じねんもく)
工務店・設計事務所)

吉弘辰一 (吉弘製材所)

【コーディネーター】

矢房孝広 (諸塚村産直住宅推進室事務局長)

*スケジュールの詳細は、裏面をご覧ください。

【主催】NPO 法人九州森林ネットワーク

【協力】株式会社安成工務店

【後援】福岡県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、山口県、北九州市、
福岡市、下関市、日田市、小国町、諸塚村、株式会社トライ・ウッド、
福岡県森林組合連合会、(社)福岡県木材組合連合会、(社)福岡県建築士会、
九州木の家づくり共同組合、門司港レトロ倶楽部 (申請中含む)

第16回九州森林フォーラム in 関門

2011.10/28(金) - 10/29(土)

バスツアー参加 申込み締切：2011.10/11(火)

(定員50名につき、定員になり次第 締め切らせて頂きます。)

3.11の東日本大震災及び原発事故は東北、北関東地方のとりわけ自然に寄り添って成り立っている農林水産業に広範で甚大な被害をもたらしました。GDPという尺度ではいまや1割にも満たない第一次産業が私たちの文化や生活の基盤をなす掛け替えのない産業であることを、今回の震災があぶり出しました。エネルギー問題を含め、自然との共生を前提とした経済社会システムへの根本的な転換が必要となっています。

特に木材業界では、少子高齢化や社会資本の成熟もあり、わが国全体の木材需要はピーク時の半分近くに縮小していますが、今回の震災で海岸部に立地していた合板や製材工場が壊滅的な被害を受けています。九州の一部では「震災特需」に期待する声もあります。しかし、「特需」は地域の実需に根ざした木材業界として生き残るための必要な構造改革を遅らせることにもなりかねません。今問われるべきは地域の森林資源と林業・木材産業を組み込んだ自立・自律的な基盤づくりではないでしょうか。安全で安心な地域社会を構築するために、再生可能な資源に依拠した林業や木材産業には大きな役割があります。更に、地域工務店においても、地域の材料にこだわりつつエネルギー問題にも配慮した家づくりが求められています。その延長線上で、九州のできる被災地の復旧・復興への貢献方法や九州で災害が発生した場合でも対応可能な木材業界の体制づくりの議論がなされるべきだと考えています。

これからの家づくりはどこに向かうべきかを踏まえ、今こそ山とまちそして海がつながる為、木材業界はどう変わるべきかをみんなで考えます。多数のご参加をお待ちしています。

お問合わせ先：NPO 法人九州森林ネットワーク事務局 (諸塚村役場企画課内) TEL 0982-65-1116

参加申込フォーム

バスツアー参加のみ申込み締切：2011.10/11(火)
(定員50名につき、定員になり次第 締め切らせて頂きます。)

参加申込フォームの連絡先 FAX.0982-65-0032

またはEメール：K.matsumura@morotuka.jp

申込み代表者 所属 E-mail:
連絡先 住所：〒 TEL:

参加者	参加希望セッション				合計
	10/28(金)		10/29(土)		
	バスツアー	交流会(海人)	フォーラム参加	ネットワーキング会員	
	バス・関門フェリー代金 1,000円	ふぐコース+飲物 5,250円	一般 1,000円	ネットワーキング会員 無料	
(例) 関門太郎	○	○	○	○	

第16回九州森林フォーラム in 関門 ～震災を超えて 第一弾～ どうする木材業界？ 今、九州の家づくりはどこに向かうのか？

- 10/28(金)**
- 13:00～14:40 「香りの家モデルハウス見学」
北九州市小倉南区上葛 1-2872 hit 小倉南住宅展示場内
☆バスツアー参加費 1,000円
 - 12:40 受付開始(出発13:10) 集合：JR 門司港駅ロータリー
 - 14:40～17:10 「そーれ菊川工場見学」 山口県下関市菊川町田部 155-7
プレカット工場・断熱材製造工場・構造館・ペレット製造機
 - 18:00～18:05 関門海峡フェリー乗船(唐戸⇒門司港)
 - 19:00～21:00 「交流会」会場：海人 門司港本店 会費 5,250円
北九州市門司区港町3番3号 TEL093-322-5522

- 10/29(土)**
- 10:00～16:00 九州森林フォーラム in 関門
会場：門司生涯学習センター
〒801-0863 北九州市門司区栄町3-7
TEL093-332-0887 JR 門司港駅より徒歩5分
 - 9:30 フォーラム受付開始 ☆参加費 会員無料、一般1,000円
 - 10:00 開会あいさつ
 - 10:10 基調講演
「九州は1つ、県産材から九州産材へ」
遠藤 日雄 鹿児島大学農学部教授 農学博士
 - 10:55 基調講演
「地域材活用のニーズの変化を探る」
三浦 祐成 (株) 新建新聞社 新建ハウジング取締役編集局長
 - 11:40 事例報告
「LCCM(ライフサイクルカーボンマイナス)住宅で「木の家」工務店が復活」
安成 信次 (株) 安成工務店 代表取締役社長
 - 質疑応答
 - 12:30～13:30 昼食休憩 各自
 - 13:30～15:50 パネルディスカッション
[パネリスト] 木川 研史 (株) トライ・ウッド
村田 義弘 (株) 建築工房 自然木(じねんもく)
吉弘 辰一 吉弘製材所
 - [コーディネーター] 矢房 孝広 諸塚村産直住宅推進室事務局長
 - 15:50 開会のあいさつ
 - 16:00 閉会

基調講演講師・事例報告講師 プロフィール

遠藤 日雄 (えんどうくさお) 1949年生。
鹿児島大学農学部教授(附属演習林長併任)。農学博士。農林水産省森林総合研究所勤務を経て2002年から現職。専門は森林政策学。わが国スギ材産地の双壁をなす東北と九州の比較分析の中から、九州の森林・林業・木材産業のあるべき姿を探っている



三浦 祐成 (みうら ゆうせい) 1972年生。
(株) 新建新聞社 新建ハウジング取締役編集局長。新建新聞社入社後、不動産情報誌の編集を経て、新建ハウジング編集部に配属。その後、取締役編集局長となり住宅出版部門を統括。国土交通省の記者クラブ担当として行政取材、編集デスクとして紙面の企画・編集、また地域のつくり手・住まい手の多くの現場取材を元に、住まい手のニーズに添ったメディア開発を行っている



安成 信次 (やすなり しんじ) 1956年生。
日本大学生産工学部建築工学科卒。25歳で実父経営の(株)安成工務店へ入社。先代急逝に伴い32歳で代表取締役となる。住宅部門では、平成元年から「環境共生住宅」の道へ進み、新聞紙をリサイクルした断熱材「デコスドライ工法」を開発、山と連携した「呼吸する木の家」を年間120棟規模で手掛けている。住宅・建築関連企業6社により安成工務店グループを形成し、「次世代型建設業」を標榜している。



お問い合わせ先 NPO 法人九州森林ネットワーク事務局(諸塚村役場企画課内)
TEL 0982-65-1116

私たち九州森林ネットワークの活動をご紹介します！
九州の山と町が共に手を結んだ NPO 法人で、2004年9月18日に設立。林産地の自治体、森林組合、山を守ろうという林業家、そして水源の森づくりの取り組みをすすめる町や団体、木の家づくりを実践する建築家や工務店など、九州各地の山や町からの参加者を募り、ネットワークによって連携し、貴重な地域の森林資源を生かす21世紀のまちづくりと森づくりを実現しようというものです。



NPO 法人九州森林ネットワークでは、会員を募集しています！
九州のまちと山々を結ぶ～そんな私たちの活動に賛同頂き、活動に参加頂ける会員の方を募集しています。年2回開催するフォーラム、山を体験する森林体験ツアー、農村体験、木の家見学会や自然や環境について学ぶセミナー等様々な活動をご案内致します。
■年会費：3,000円 年2回フォーラムの参加費無料 活動案内・報告など通信送付 ■申込み、お問合わせは上記事務局まで